



2021年3月25日

NITE (ナイト)

独立行政法人製品評価技術基盤機構

法人番号 9011005001123

News Release

3年連続、年100件以上発生

～点検と情報確認で自転車の製品事故を防ぎましょう～

昨年から続くコロナ禍の影響により、自転車の需要が、三密を避けて移動する手段として高まっています。また、4月は通勤や通学手段として新たに自転車に乗り始める人が増える季節です。2015年から2020年^{※1}の6年間にNITE（ナイト）に通知された製品事故情報^{※2}では、自転車の製品事故は647件ありました。自転車の事故は重傷に至る場合が多く、発生した647件中393件（60%）を占めています。

自転車の製品事故はこの6年間においては、2015年から2019年までは4月から5月にかけて最も多く発生しました。2020年では緊急事態宣言が解除された後の6月に事故が多く発生しているため、3月21日まで継続した今回の緊急事態宣言の後も同様に事故の増加が懸念されます。

自転車は手軽で便利な乗り物ですが、油断や慣れからくる誤った使い方が大きな事故につながります。乗車前の点検、購入してから1～2カ月での初期点検など、日頃から自転車の状況を確認するように心がけてください。

また、自転車の誤った使い方による事故のみならず、2018年から2020年にかけてはリコール対象製品を使用した際に発生した事故が多くあったことから、リコール情報の確認も必要です。

■事件事例

- 学校から帰宅時に自転車で走行中、前輪に異物が巻き込まれてロックしたため、バランスを崩し転倒、打撲を負った。【2020年2月、愛知県、軽傷】
- ネットで購入した自転車にクイックリリースハブ^{※3}の固定方法に関する適切な取扱説明書が添付されておらず、使用者がクイックリリースハブを不完全な状態で締め付けて通学路を繰り返し走行したため、前輪が外れ、転倒した。【2019年7月、愛知県、軽傷】
- 退勤時に一発二錠^{※4}の自転車で走行中、錠が誤作動してハンドル操作が出来なくなり、転倒しけがを負った。【2019年9月、東京都、重傷】

■気を付けるポイント

- ハンドルには、買い物袋や傘などをぶら下げないでください。ぶら下げた買い物袋や傘が車輪に巻き込まれるおそれがあります。また、路上の木の枝やごみなどに注意して走行してください。
- 車輪やハンドルのがたつき及びブレーキの効き具合（ブレーキレバーの引きしろ、ブレーキシューやブレーキパッドの減り、ブレーキ本体の緩み）の不備がないか、乗車前に確認することを習慣にしてください。
- お手持ちの製品がリコール対象製品でないことを確認してください。
- 新車は乗り始めてから1～2カ月程でねじが緩んだりワイヤーが伸びたりするため、購入後1～2カ月を目安に、自転車技士又は自転車安全整備士のいる店舗^{※5}で、各部のがたつき・ワイヤーの伸びなどがいないかの初期点検を受けてください。また、新車以外の自転車においても、1年ごと及び異常を感じた場合には販売店などで点検を受けてください。

(※1) 2020年の数値は、詳細を確認中のため参考値とします。

(※2) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含みます。

(※3) スポーツ車に採用される、工具を使わず車輪を外すことができるタイヤ軸の機構を指します。（P9参照）。

(※4) 盗難防止のため、後輪用サークル錠（後輪錠）を施錠するとハンドル錠（前錠）も同時に施錠される機能の名称（P3参照）。

(※5) 自転車安全整備士の店舗はインターネットで検索できます。（参考URL：<https://www.tmt.or.jp/safety/index1.html>）

自転車 本資料における区分

一般自転車

小径車



幼児用座席装着自転車



シティサイクル



子供用自転車



スポーツ車

クロスバイク

マウンテンバイク



ロードバイク



折りたたみ自転車

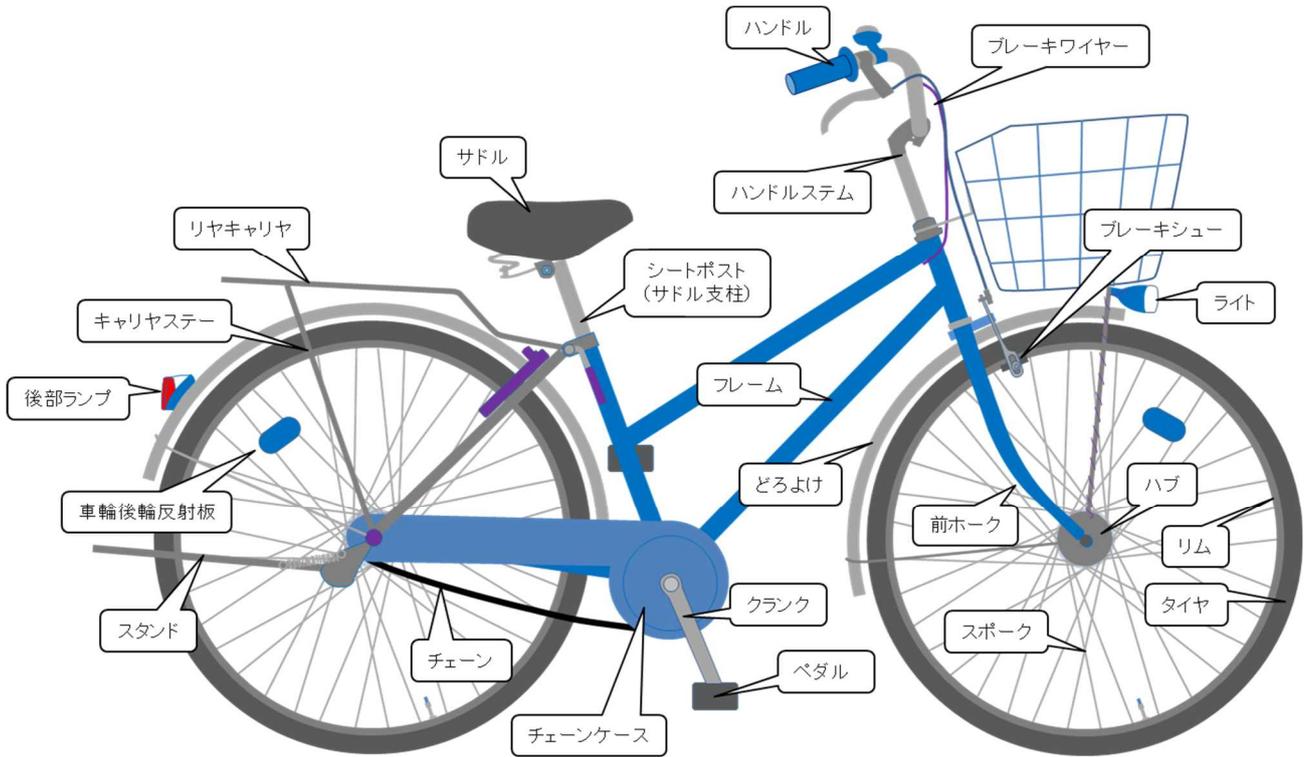


電動アシスト自転車



イラストは道交法における安全装置を省略しています。

自転車 各部の名称



用語 「ハンドルがロックされる」

後輪用サークル錠（後輪錠）を施錠するとハンドル錠（前錠）も同時に施錠される機能（一発二錠）を搭載した自転車・電動アシスト自転車で、ハンドルロックのケースの破損などが原因で錠が誤作動し、走行時にハンドル操作が出来なくなること。



リコール対象製品の確認方法（ラベルが黒色のものがリコール対象製品）



リコール対象製品



リコール事象に至る状態（ケースの破損）

1. 事故の発生状況

1.1 年別の事故発生件数

2015年から2020年までの間にNITEに通知のあった製品事故情報のうち、自転車の事故647件について、図1に「年別の被害状況別事故発生件数」を示します。2018年以降は毎年100件以上の事故が発生しています。

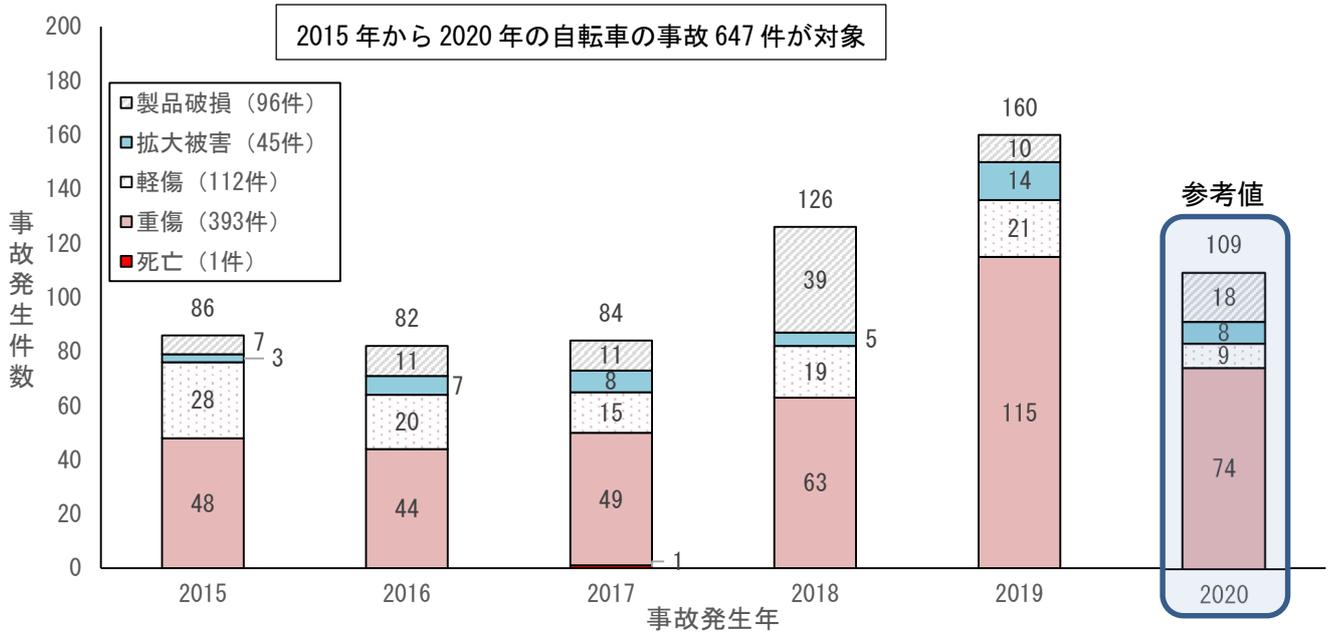


図1 年別の被害状況別事故発生件数

図2に「年別の車種別事故発生件数」を示します。2019年まで減少傾向にあったスポーツ車の事故が2020年は増加に転じています。コロナ禍において、自転車通勤や運動不足解消などを目的としてスポーツ車の需要が高まったためと考えられます（別紙2参照）。

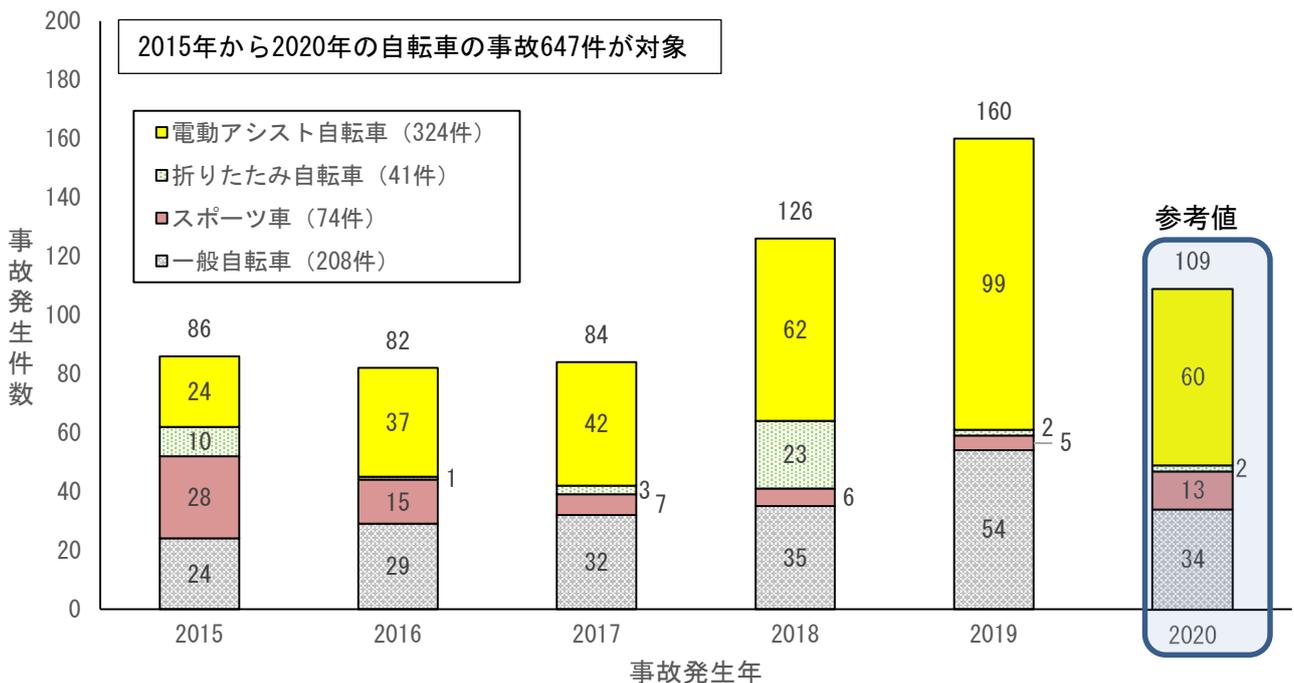


図2 年別の車種別事故発生件数

1.2 月別の事故発生件数

自転車の事故 647 件のうち、事故発生月の判明した 633 件について、図 3 に「月別の事故発生件数」を示します。

2015 年から 2019 年にかけては 5 月に最も多く事故が発生しています。2020 年は 5 月には事故が減少しており 6 月に事故が増えています。これは緊急事態宣言（全国では 4/16～5/25）により学校の休校や外出自粛が求められていたこと、及び 5 月下旬の解除により 6 月の外出が増えたことが影響していると考えられます。

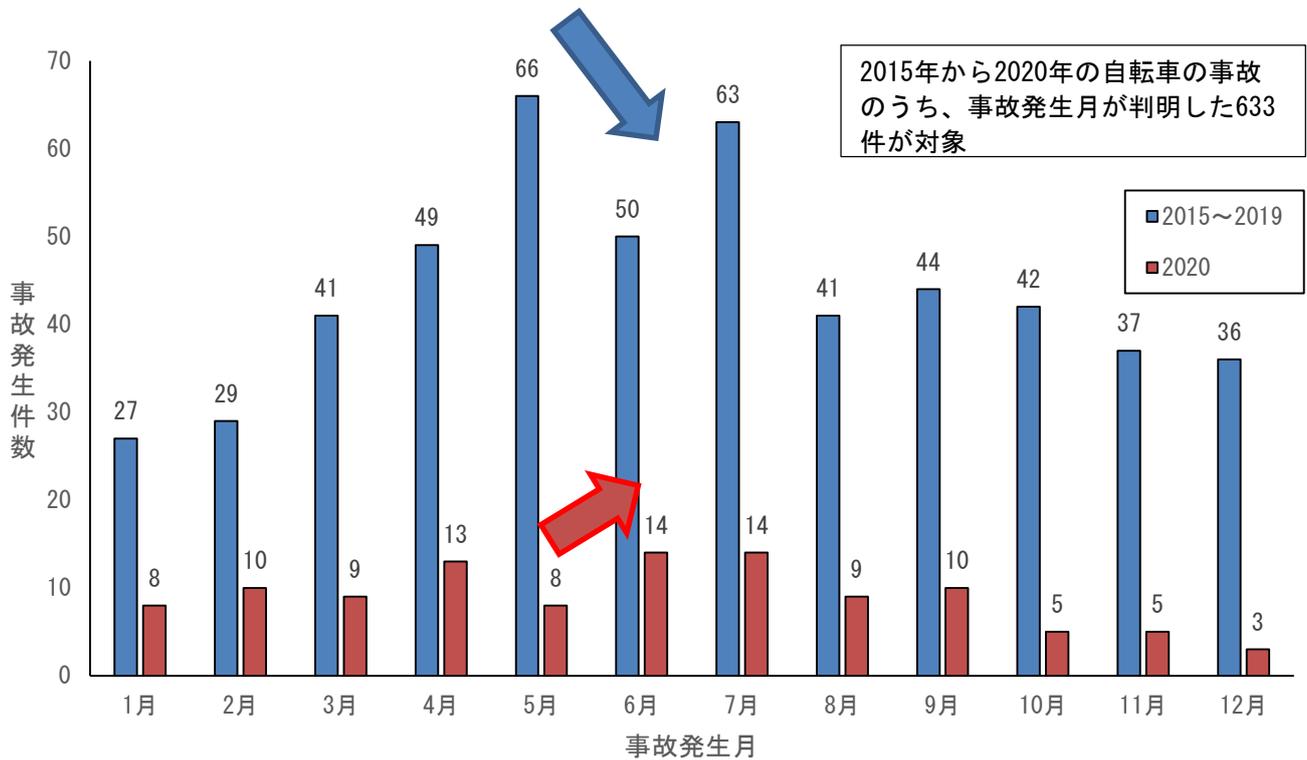


図 3 月別の事故発生件数

1.3 事故事象

自転車の事故 647 件のうち、事故発生時の状況が判明したものについて、件数の多い事故事象 10 件を表 1 に「事故発生状況」として示します。

事象の多い「ハンドルがロックされる」のほとんどはリコール対象製品により一時期（2018～2020 年）に頻発したものです。また、「バッテリーの脱落や発火」も多くはリコール対象製品によるものです。

表 1 事故発生状況^{※6}

事故事象	被害状況					
	死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損	総計
ハンドルがロックされる		102	32		1	135 【135】
バッテリーの脱落や発火		2	1	44	53	100 【63】
バランスを崩し転倒	1	53	1			55 【22】
前輪がロック		38	14		2	54 【15】
フレームの変形・破損など		25	17		8	50 【5】
ペダルの空転・脱落・破損など		7	10		18	35 【9】
ハンドルの空転・脱落・破損など		19	5		4	28 【5】
タイヤの外れや破損		11	11		2	24 【3】
ブレーキに不具合		17	4			21 【1】
壁などに衝突		13	1			14 【4】

(※6) 総計の【】内はリコール対象製品の件数です。

2. 近年の動向

2020年と2019年の事故を比較すると、表2に示すとおり、リコール事象の事故を除いた事故の件数では、スポーツ車の事故が増加しています。コロナ禍の影響により、自転車通勤が増えたこと及び自転車を利用した配達が増えたこと、運動不足の解消のために屋外で行える運動として自転車が注目されていることなどが理由と考えられます。

直近2年間の事故発生状況では、リコール事象の事故が減少しており、メーカーによる対策が効果を表していると考えられます。2020年では「壁などに衝突」の事故が増加しており、自転車同士の接触や単独で壁などにぶつかる事故が発生しています。

表2：車種別事故発生件数

	一般 自転車	スポーツ車	折りたたみ自転車	電動アシスト自転車	総計
2019	34	5	2	63	104
2020	22	13	2	49	86

表3：自転車走行時の事故発生状況

	2019				2020			
	一般 自転車	スポーツ 車	折りたた み自転 車	電動アシ スト自転 車	一般 自転車	スポーツ 車	折りたた み自転 車	電動アシ スト自転 車
ハンドルロック	20			36	12			11
バッテリーの脱落 や発火				23				24
バランスを崩し転 倒	5			10	1			4
前輪がロック	8		1	1	4	3		2
フレームの変形・ 破損など	1	1		2		3		
ペダルの空転・脱 落・破損など					1	1		2
ハンドルの空転・ 脱落・破損など	1			1			2	1
タイヤの外れや 破損	4	1		1	1	2		
ブレーキに不具 合	1			2	1	1		1
壁などに衝突	1			1	2	1		4

3. 事故の事例

3.1 走行中に車輪がロックして転倒し、けがを負った

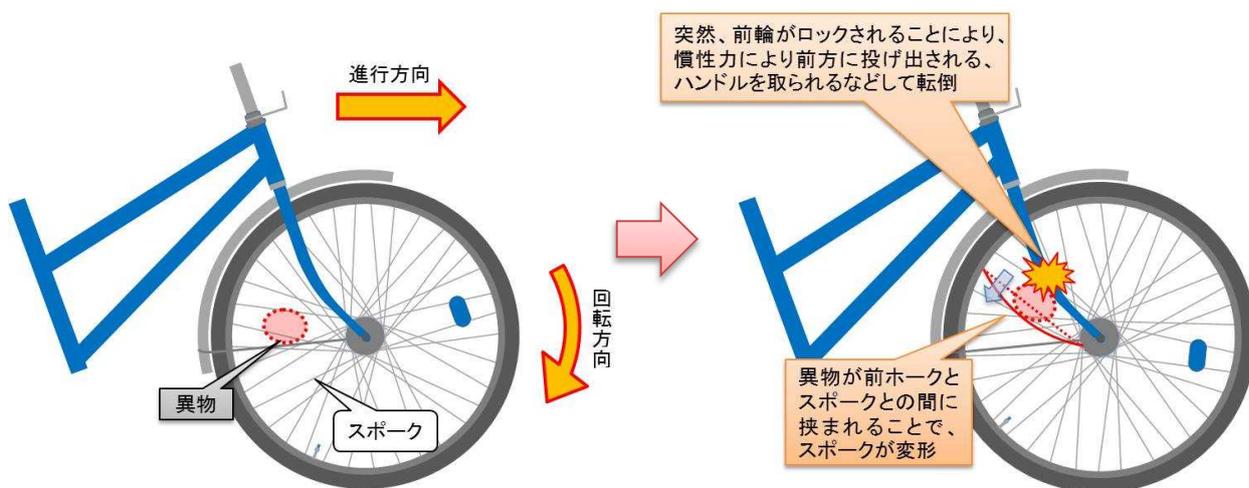
2020年2月（愛知県、10歳代・男性、軽傷）

【事故の内容】

学校から帰宅時に自転車で走行中、前輪がロックして転倒し、顔面にけがを負った。

【事故の原因】

前ホーク及びスポークに傷があり、前ホークは後方へ変形しスポークが折れていることから、前輪に異物が巻き込まれて前輪がロックしたため、バランスを崩し転倒したものと考えられる。



異物を巻き込んで前輪がロックする状況

事故を防ぐためのポイント

○ハンドルにものをぶら下げない

ハンドルに買い物袋、かばん、傘などをぶら下げていると、車輪に巻き込まれてロックし、バランスを崩して転倒するため危険です。荷物はハンドルにぶら下げたりせず、かごに入れてください。



買い物袋が前輪に巻き込まれる状況

○走路の状況に注意する

木の枝やごみなどが落ちている場所を走行すると、車輪で跳ね上げて巻き込んでしまうおそれがあります。走路の状況に注意してください。特に風の強い日やその翌日はごみなどが散乱している場合があります。

3.2 走行中に車輪が外れて転倒し、けがを負った

2019年7月（愛知県、10歳代・男性、軽傷）

【事故の内容】

通学時にインターネットで購入した自転車で走行中、前輪が外れて転倒し、手首を骨折した。

【事故の原因】

インターネットで購入した自転車にクイックリリースハブの固定方法に関する適切な取扱説明書が添付されていなかったため、使用者がクイックリリースハブを不完全な状態で締め付けて走行し、前輪が外れたものと考えられる。



3.3 走行中ブレーキが効かず転倒し、けがを負った

2017年7月（福島県、20歳代・女性、重傷）

【事故の内容】

退勤時に自転車で下り坂を走行中、ブレーキが効かず転倒し、負傷した。

【事故の原因】

事故が発生した自転車のブレーキワイヤーの張りを調整するとブレーキが正常に機能したことから、雨でぬれた坂道をブレーキの調整が不十分な状態で走行したため、ブレーキが効かない状態になり、転倒したと考えられる。

事故を防ぐためのポイント

○乗車前に車輪やハンドルまわり、ペダルの緩みやがたつきを確認する

乗車前には必ず、車輪やハンドルまわり（ハンドル、ハンドルステム、ヘッドパーツ）、ペダルに緩みやがたつきがないか確認してください。適正なトルクで締め付けられていないと、走行中に車輪やハンドルまわりが緩んでくる場合があります。また、インターネットで自転車を購入すると、ハンドルやペダル、車輪などが取り付けられていない状態で購入者の元に届くことがあり、その場合、乗車前の最後の組み立ては購入者が行うこととなります。特にスポーツ車の車輪の取り付けには、クイックリリース方式が多く採用されており、事例にも挙げたように、クイックリリースカムレバーの調整が不十分なまま走行して事故に至ったものがあるため、注意が必要です。必ず、正しい方法で車輪を固定してください。

なお、インターネットで購入する場合は、発注のみを行い、受け取りは店舗で行うことをお勧めします。自転車販売店のホームページなどで店舗受け取りの可否をご確認ください。また、修理が必要となった場合に送料が必要となるか否かなど、後日トラブルにならないよう、ホームページなどでアフターサービスの内容についても細かく確認をした上で購入してください。



クイックリリース方式の車輪で調整ナットの締め付けのみで固定し走行中に車輪が外れる状況

○ブレーキの効き具合は必ず確認する

ブレーキの効きが甘い状態で走行を続けると、制動不良などによって転倒するおそれがあります。また、自分が転倒するだけでなく、歩行者などと衝突したり巻き込んだりするおそれもあるため、必ず乗車前にブレーキの効きを確認してください。ブレーキレバーを握った際に緩んでいたり、逆に固すぎたりする場合は調整が必要です。ご自身で調整を行うか、自転車技士又は自転車安全整備士のいる店舗に相談してください。

3.4 走行中にハンドルが動かなくなり、転倒してけがを負った

2019年9月（東京都、50歳代・女性、重傷）

【事故の内容】

退勤時に自転車で走行中、ハンドルが動かなくなり、転倒してけがを負った。

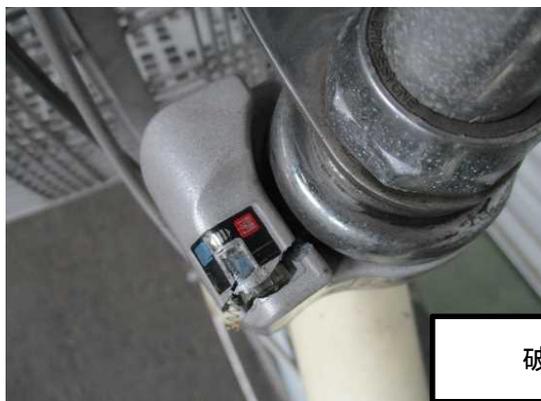
【事故の原因】

事故品は一発二錠を備えた自転車であった。走行時に錠が誤作動しハンドル操作が出来なくなり、事故に至ったものと考えられる。

対象の製品は、2019年6月よりホームページ並びに新聞に社告（リコール情報）が掲載されるとともに、注意喚起ちらしの配布や購入者にダイレクトメールの発送などが行われ、無償点検・改修が行われている。



正常な状態



破損時



リコール対象製品の確認方法（ラベルが黒色のものがリコール対象製品）

3.5 充電中の電動アシスト自転車用バッテリーパックが発火し、けがを負った

2020年4月（愛知県、70歳代・女性、拡大被害）

【事故の内容】

電動アシスト自転車用のバッテリーパックが焼損し、自転車の一部が熱で変形した。

【事故の原因】

大気中の水分がバッテリーパック内部に浸入することが可能な構造であり、水分によりバッテリーパックの一部が腐食して穴があき、内部でショートして焼損したものと考えられる。

事業者は、2021年1月26日付けでホームページに社告を掲載し、1月27日には新聞に社告（リコール情報）を掲載、2月初旬から使用者へのDM発送、販売者への連絡文書発送による連絡により、対策品との無償交換を行っている。

リコール対象製品による事故を防ぐために

2015年から2020年における自転車の事故647件のうち、リコール対象製品による事故が291件ありました。

リコール情報は、新聞やダイレクトメールなどで繰り返し告知されている場合や、事業者のホームページのみに掲載されている場合があります。

お持ちの製品がリコール対象かどうかを確認していただき、事故を未然に防ぎましょう。

リコール対象製品をお持ちの場合は、不具合が生じていなくても使用を中止し、お買い求めの販売店や製造・輸入業者に確認や相談をしてください。

消費者庁のリコール情報サイトにおいて、最新のリコール情報や、キーワードによるリコール情報の検索を行うことができます。

また、「リコール情報メールサービス」に登録することでリコール情報が提供されます。



<https://www.recall.caa.go.jp/index.php>



事故品・事例を確認**○過去にどのような事故が発生しているか確認する。**

NITE はホームページで製品事故に特化したウェブ検索ツール「SAFE-Lite (セーフ・ライト)」のサービスを行っております。製品の利用者が普段お使いの言葉で製品名を入力すると、事故の情報が表示されます。



<https://www.nite.go.jp/jiko/jikojoohou/safe-lite.html>

お問い合わせ先

独立行政法人製品評価技術基盤機構 製品安全センター 所長 小田 泰由
担当者 柿原、佐藤、向井

Mail : ps@nite.go.jp

Tel : 06-6612-2066

自転車の点検チェックリスト

自転車に乗る前には、自転車に以下のような異常が無いか確認してください。また、定期的に販売店などで自転車技士又は自転車安全整備士の点検を受けてください。

【乗車前確認】

(1) 車輪への巻き込みの確認

- どろよけに曲がりや外れなどはないか
- 走行時、ハンドルに傘や買い物袋などをかけていないか

(2) 固定部の締め付け不足・緩みの確認

- 前輪、後輪の取り付けに緩みや変形はないか
※クイックリリース方式の場合、レバーは推奨されている固定力と固定位置で正しく固定されているか
- ハンドル、ハンドルステム、ヘッドパーツは確実に締まっているか
- サドルのシートポストは確実に締まっているか（はめ合わせ限界標識が隠れているか）
- ペダルにがたつきや緩みはないか



サドルのはめ合わせ限界標識：赤線の下が隠れる高さで固定

固定部の締め付けが不足していたり余分なたるみ、ゆがみがあると、走行中に車輪やハンドル、サドル、ペダルなどが脱落して、転倒するおそれがあります。締め付けは必ずトルクレンチを使用し、適正なトルクで行ってください。

(3) チェーンの確認

- チェーンにねじれ、余分なたるみがないか
- チェーンの油が切れていないか

(4) ブレーキの効きの確認

- 前後ブレーキレバーの引きしろ
- 前後ブレーキは適切に作動しているか

ブレーキの効きが甘い状態で乗車を続けると、走行中に制動不良などによって転倒するおそれがあります。また、自分だけでなく、歩行者などと衝突するおそれもあるため、必ず乗車前に確認してください。

(5) その他部品の確認

- タイヤの空気が不足してないか
- (トンネル内や夜間に乗車する場合) ライトは正しい角度で適切に点灯するか
- (トンネル内や夜間に乗車する場合) 反射板やテールライトは正しい角度で適切に点灯するか。

【定期点検】

(1) 自転車本体への衝撃や荷重、さびなどによる強度不足の点検

- 本体（フレーム）に亀裂やさび、フレームパイプにしわ、膨らみなどが発生していないか

強度不足などによりフレームが破損して、走行中に転倒するおそれがあります。販売店で点検を受けてください。

ブレーキ部品の点検

- 前後ブレーキ本体とフレームの固定は緩んでいないか
- 前後ブレーキシューの固定は緩んでいないか
- 前後ブレーキシュー・ブレーキパッドが摩耗していないか
- ディスクブレーキの場合はローターが摩耗していないか
- ブレーキワイヤーにほつれやさびがないか
- ブレーキワイヤーが伸びていないか
- ブレーキシューやブレーキパッドが当たるリムやローターに異物や傷が付いていないか



(写真) ブレーキワイヤーのさび

ブレーキに不具合があると、走行中に制動不良などによって転倒するおそれがあります。ワイヤーがさびている場合は販売店で交換を行ってください。

(2) 車輪、その他の部品の点検

- 車輪のリムやスポークに変形や破損がないか
- タイヤが摩耗していないか
- その他、ボルトやナット、ねじに緩みがないか

(3) 固定部分の点検【折りたたみ自転車】

- 折りたたみ自転車の固定部分（ペダル、フレーム、ハンドルなど）は確実に固定されているか。

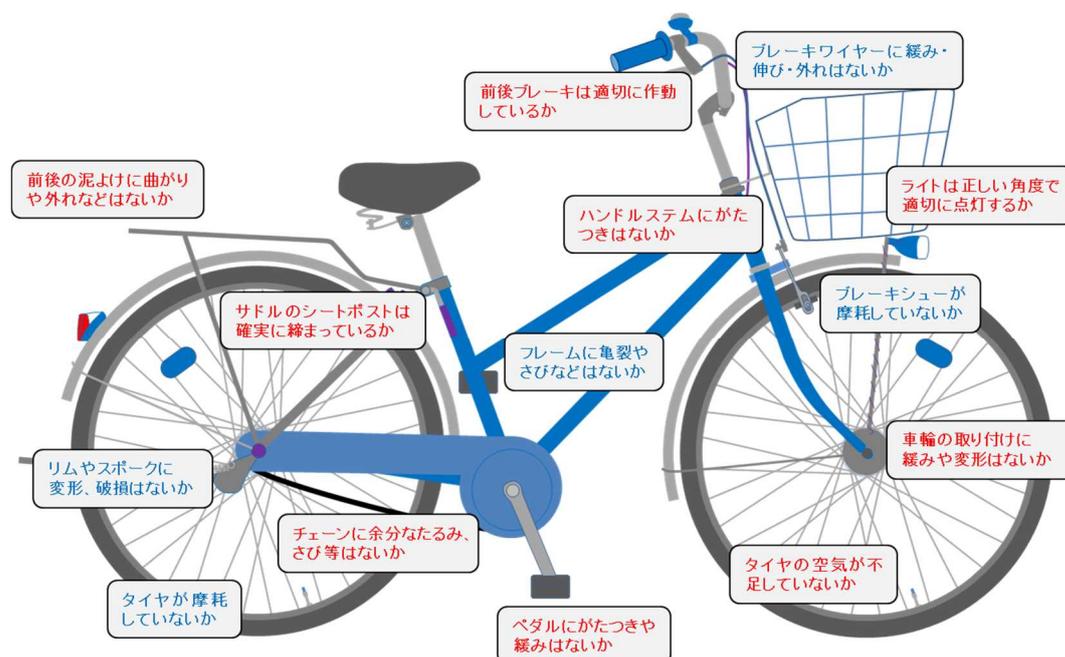
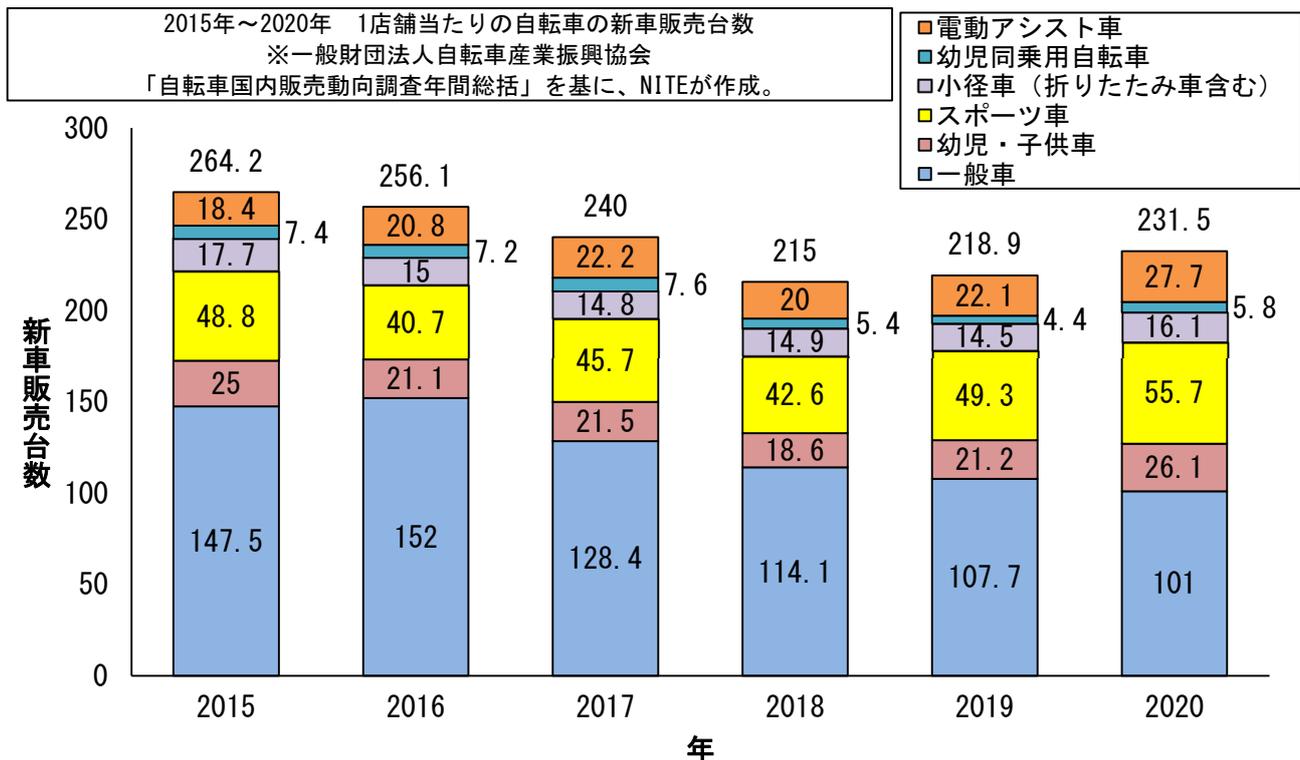


図 自転車の確認項目（赤字：乗車前確認、青字：定期点検）

自転車の販売動向

2020年は2018年、2019年と比較し、自転車の1店舗当たりの販売台数が増加しました。特に緊急事態宣言明けの6月は前年の約1.4倍となっています。

① 新車平均販売台数の推移

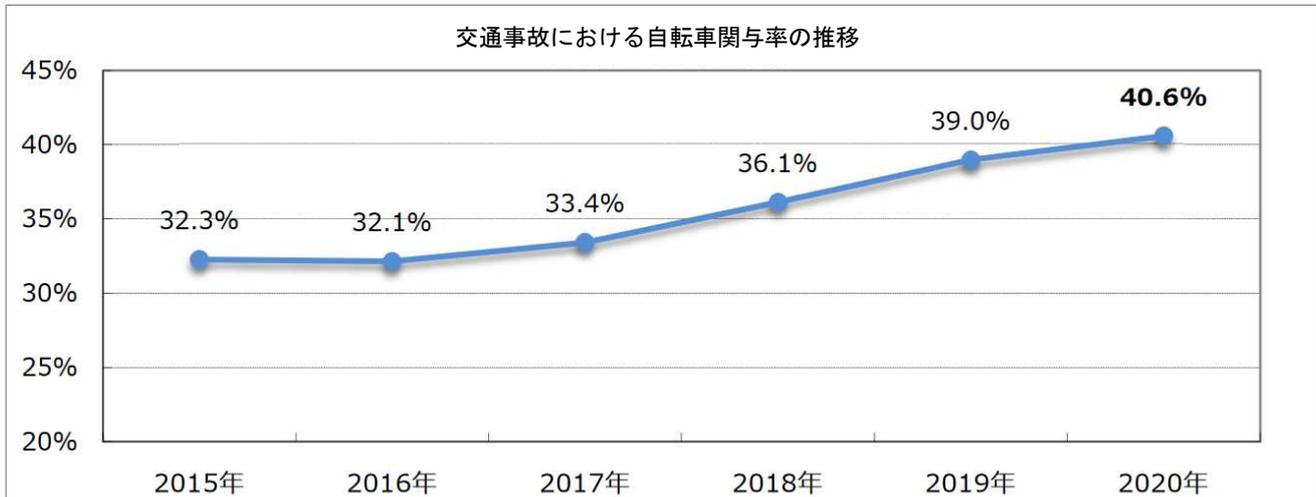


出典：一般財団法人自転車産業振興協会「自転車国内販売動向調査 2020年12月 月報」

http://www.jbpi.or.jp/statistics_pdf/202012.pdf

自転車の交通事故

警視庁の公表している東京都内の自転車事故の件数では、自転車に関与する交通事故は前年よりも増加しています。



出典：警視庁 都内自転車の交通事故発生状況

https://www.keishicho.metro.tokyo.jp/about_mpd/jokyo_tokei/tokei_jokyo/bicycle.files/001_02.pdf

自転車に接触し、けがを負った

2020年1月（埼玉県、20歳代・男性、重傷）

【事故の内容】

自転車で走行中、前方を走っていた自転車に接触転倒し、足を負傷した。

【事故の原因】

前方の自転車との距離が1m程の状態での縦走を続けており、前方の自転車がブレーキを掛けたことに気づかず接触したことにより事故に至ったと考えられる。

事故を防ぐためのポイント

○走行時の前方確認を怠らない

走行中の気の緩みや不注意により、壁にぶつかったり、自転車同士が接触したりする事故が毎年発生しています。走行時は前方に注意し、絶対にスマートフォンの操作などを行わないでください。また、イヤホンをつけたままでの自転車走行は多くの都道府県で禁止しています。交通規則や条例で定められているため、罰金などが課される場合もあります。

壁などにぶつかった後の自転車はフレームやタイヤが変形しているおそれがあります。そのまま使用し続けると走行中に破断するなどの大きな事故に繋がるおそれがあるため、異常なく走行できたとしてもそのままにせず、自転車技士又は自転車安全整備士のいる店舗に相談し、必要に応じて点検を受けてください。特に、部品が破損していたり、普段と違う音（きしみなどの異音）が発生したりしているときは必ず相談してください。

公表日	品名	事業者名称	社告内容
自転車に係るリコール			
2021/1/26	電動アシスト自転車用バッテリー	<p>ヤマハ発動機株式会社 (法人番号：2080401016040) プリヂェストンサイクル株式会社 (法人番号：9030001041957) 株式会社丸石サイクル (法人番号：4030001066620)</p>	<p>[製品名及び型式] 製品名 バッテリー型番 YAMAHA 電動アシスト自転車用 リチウムイオンバッテリー 8.9Ah (販売：ヤマハ発動機株式会社) X83-00 X83-01 X83-02 X83-20 X83-21 X83-22</p> <p>BRIDGESTONE 電動アシスト自転車用 リチウムイオンバッテリー 8.9Ah (販売：ブリヂェストンサイクル株式会社) X83-10 X83-11 X83-12 X83-30 X83-31 X83-32</p> <p>Maruishi 電動アシスト自転車用 リチウムイオンバッテリー 8.9Ah (販売：株式会社丸石サイクル) X83-40 X83-41 X83-50 X83-51 X83-60 X83-61 X83-** (※) ※型番末尾 2桁が40～61以外のものが少数あるため、下記コールセンターへお問い合わせください。</p> <p>[販売期間] ヤマハ発動機株式会社販売：2012年1月～2021年1月 プリヂェストンサイクル株式会社販売：2012年1月～2021年1月 株式会社丸石サイクル販売：2012年12月～2019年2月</p> <p>[リコールの内容] 電動アシスト自転車用および交換用バッテリーパックにおいて、バッテリー内部の劣化等により、バッテリー内部より発火する可能性があることが判明したため。</p> <p>[対処方法] バッテリーパックの無償交換</p> <p>[問い合わせ先等] ヤマハ発動機「PASバッテリー」無償交換お客様コールセンター ◆フリーダイヤル：0120-808-368 ◆受付時間：10:00～18:00 (土曜日・日曜日・祝日・事業者休業日を除く) ◆ヤマハ発動機株式会社：https://www.yamaha-motor.co.jp/recall/pas/2021-01-26 プリヂェストンサイクル「電動アシスト自転車用バッテリー」無償交換お客様コールセンター ◆電話番号：0120-830-257 ◆受付時間：10:00～18:00 (土曜日・日曜日・祝日・事業者休業日を除く) ◆ブリヂェストンサイクル株式会社：https://www.bscycle.co.jp/info/2021/8785 丸石サイクル「電動アシスト自転車用バッテリー」無償交換お客様コールセンター ◆電話番号：0120-855-072 ◆受付時間：10:00～18:00 (土曜日・日曜日・祝日・事業者休業日を除く) ◆株式会社丸石サイクル：https://www.maruishi-cycle.com/news/qc202101</p>

公表日	品名	事業者名称	社告内容
2020/4/21	電動アシスト自転車用バッテリー	パナソニック サイクルテック株式会社 法人番号： 1122001021103	<p>[製品名及び型式] バッテリー品番 ロット記号(※1) JANコード NKY449B02 R*****、S***** 4519389665404 NKY450B02 Q*****、R*****、S***** 4519389665527 NKY451B02 Q*****、R*****、S***** 4519389665602 NKY452B02 Q*****、R*****、S***** 4519389665725 NKY454B02 Q*****、R*****、S***** 4519389665824 NKY486B02 Q*****、R*****、S***** 4519389666425 NKY487B02 Q*****、R*****、S***** 4519389666524 NKY488B02 Q*****、R*****、S***** 4519389666623 NKY490B02 R*****、S***** 4519389666807 NKY491B02 R*****、S***** 4519389666722 NKY493B02 Q*****、R*****、S***** 4519389667521 NKY494B02 Q*****、R*****、S***** 4519389668429 NKY495B02 Q*****、R*****、S***** 4519389668821 NKY496B02 Q*****、R*****、S***** 4519389667729 NKY497B02 Q*****、R*****、S***** 4519389667224 NKY498B02 Q*****、R*****、S***** 4519389667620 NKY510B02 S***** 4519389667811 NKY511B02 S***** 4519389667910 NKY512B02 NKY512B02 : S***** 4519389668016 NKY513B02 Q*****、R*****、S***** 4519389668122 NKY514B02 Q*****、R*****、S***** 4519389668221 (※1) *の部分には、10桁の英数字が入ります。</p> <p>[製造期間] 2012年10月～2014年12月</p> <p>[リコールの内容] 電動アシスト自転車用および交換用バッテリーパックから発火する可能性があることが判明したため。同社では電動アシスト自転車用バッテリーについて、2015年7月27日付及び2016年9月26日付で既にリコールを実施しておりますが、今回は対象製品が異なります。前回のリコールにおいて対象外であった場合でも、再度バッテリー品番及びロット記号のご確認をお願いします。</p> <p>(参考) ・2015年7月27日付リコールの詳細： https://www.nite.go.jp/jiko/jikojohou/recall_new/2015/2015072701.html ・2016年9月26日付リコールの詳細： https://www.nite.go.jp/jiko/jikojohou/recall_new/2016/2016092601.html</p> <p>[対処方法] バッテリーパックの無料交換</p> <p>[問い合わせ先等] パナソニック サイクルテック株式会社 電動自転車バッテリー市場対策室 ◆フリーダイヤル(無料) : 0120-870-355 (携帯電話・PHSからも利用可) ◆受付時間 2020年5月21日以降 9:00～17:00 (土・日・祝日・事業者休日を除く) ※お問い合わせの際は、お持ちのバッテリーの品番とロット記号をご準備ください。 ◆事業者URL https://panasonic.co.jp/ls/pct/info/eb3/</p>

公表日	品名	事業者名称	社告内容
2020/2/3	電動アシスト自転車	ヤマハ発動機株式会社 法人番号： 2080401016040	<p>[製品名及び型式] 型式、モデル名、年式、対象車両号機： PA26W、PAS With 26インチ、2020年、XOUR-0001001～0017027 PA26WDX、PAS With DX 26インチ、2020年、XOUR-1001001～1006167 PA24W、PAS With 24インチ、2020年、XOUS-0001001～0003600 PA24WDX、PAS With DX 24インチ、2020年、XOUS-1001001～1001595 PA26WSP、PAS With SP26インチ、2020年、XOUV-0001011～0001403 PA24WSP、PAS With SP24インチ、2020年、XOUW-0001001～0001050 PA20BSPP、PAS Babby un SP、2020年、X2R1-0001001～0011015 PA20BXLRL、PAS Babby un、2020年、X2R1-1001001～1002485 PA20KSP、PAS Kiss mini un SP、2020年、X2R3-0001001～0005715 PA24C、PAS Crew、2020年、X2M7-0001002～0001761 (備考) 無償修理対象車の車両号機の範囲には、対象とならない車両も含まれています。</p> <p>※対象製品については下記よりご確認ください。 https://www2.yamaha-motor.co.jp/Recall/Pas/</p> <p>[販売期間] 2019年11月～2020年3月</p> <p>[リコールの内容] ドライブユニットのソフトウェア不具合により、特定の操作をすると「アシストオフモード」の状態でもアシストが発生し、その状態においては最高速の24km/hを僅かに超える速度までアシストが作動してしまうため。</p> <p>[対処方法] 無償修理</p> <p>[問い合わせ先等] ヤマハ発動機株式会社 カスタマーコミュニケーションセンター ◆電話番号：0120-090-819 ◆受付時間：9:00～12:00 / 13:00～17:00 (土日祝日を除く) ◆事業者URL：https://www.yamaha-motor.co.jp/recall/pas/2020-02-03/</p>
2019/6/24	自転車・電動アシスト自転車	ブリヂストンサイクル株式会社 法人番号： 9030001041957	<p>[製品名及び型式] 商品名、機種、型番、製造番号： ハンドルロック「一発二錠」を搭載した自転車・電動アシスト自転車 (販売：ブリヂストンサイクル株式会社) 機種、型番、製造番号：https://www.bscycle.co.jp/pdf/important_20190624.pdf ハンドルロック「一発二錠」を搭載した自転車・電動アシスト自転車 (販売：ヤマハ発動機株式会社) 機種、型番、製造番号：https://www.yamaha-motor.co.jp/recall/pas/2019-06-24/pdf/2019-06-24_list.pdf</p> <p>[販売等期間] ブリヂストンサイクルブランド：2003年9月～2015年5月 ヤマハ発動機ブランド：2004年10月～2015年1月</p> <p>[リコールの内容] 「一発二錠」を搭載した自転車・電動アシスト自転車で、ハンドルロックのケースの破損などが原因で錠が誤作動し、走行時にハンドル操作が出来なくなるおそれがあるため。</p> <p>[対処方法] 無償点検・改修</p> <p>[問い合わせ先等] ブリヂストンサイクル「一発二錠」無償点検・改修お客様コールセンター ◆電話番号：0120-502-092 ◆受付時間：9:00～18:00 (月曜日～日曜日) ◆事業者URL：https://www.bscycle.co.jp/info/2019/6624</p> <p>ヤマハ発動機「一発二錠」無償点検・改修お客様コールセンター ◆電話番号：0120-801-309 ◆受付時間：9:00～18:00 (月曜日～日曜日) ◆事業者URL：https://www.yamaha-motor.co.jp/recall/pas/</p>

公表日	品名	事業者名称	社告内容
2014/12/15	電動アシスト自転車用バッテリー	神田無線電機株式会社	<p>[製品名及び型式] 対象バッテリー搭載自転車シリーズ名 TASKAL、amadana、RUNFUN</p> <p>対象バッテリー： 品番：KMD-BC 6.6Ah 型番：KMD-BC6 JANコード：4571311370930</p> <p>品番：KMD-BC 8.8Ah 型番：KMD-BC8 JANコード：4571311371968</p> <p>品番：KMD-BT 6.6Ah 型番：KMD-BT6 JANコード：4571311372989 型番：KMD-BT6N JANコード：4571311374068</p> <p>品番：KMD-BT 8.8Ah 型番：KMD-BT8 JANコード：4571311372996 型番：KMD-BT8N JANコード：4571311374075</p> <p>[販売等期間] 2012年4月～2014年7月</p> <p>[社告等の内容] 当製品において数件、発煙及び発火が発生したことが判明。</p> <p>[対処方法] 回収（無償交換：対象バッテリー）</p> <p>[問い合わせ先等] ・フリーダイヤル：0120-565-880 （対象自転車ご使用中のお客様からの回収交換受付） 0120-285-880 （販売店様からのお問い合わせ専用） ・受付時間：09：00～18：00（土日祝祭日を除く） ・URL：http://www.laox.co.jp/wordpress/wp-content/uploads/2014/12/20141215_press.pdf ・電動アシスト自転車の「バッテリー」無償交換プログラム窓口 URL：http://taskal.laox.co.jp/project/</p>